



創誠健和

旭川中学校 学校通信 6月号



Withコロナの修学旅行

令和4年6月9日発行

テーマ：充学慮考（充実・楽しむ・気を慮る・考えて行動）



今年度の修学旅行は、延期することなく予定通りに出発することが出来ました。

「非日常で共に学び・共に過ごすことの喜びを味わう」という「修学旅行」の価値が大切であり、実体験を伴うリアルな旭中の修学旅行は、「ウポポイ」も「函館山からの夜景」も「自主研修」も「ルスツリゾート」も、そして天候と仲間、全てが思い出に残るものとなりました。

今年度は、アイヌ文化の復興と発展のナショナルセンター「ウポポイ」の見学からスタートでき、先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かなアイヌ文化の魅力に触れることが出来ました。

函館での夜景や自主研修も天候に恵まれ、事前準備でバーチャル体験した内容が、全て実体験が出来たことに感謝しながら、学びを深めることが出来ました。もちろん最終日のルスツリゾートでも魅力が盛りだくさんで、たくさんの笑顔引き出すアトラクションばかりでした。

想いでアルバムには、マスクを外した笑顔を残すことが出来たと同時に、参加が叶わなかった仲間を思いやる心も育まれた、そんな修学旅行となりました。

私たちが創る新たなLegacy

2022『春フェス』旭中五輪・パラリンピック

インクルーシブな視点で共生社会の担い手を育む、誰もがワクワクしながら生き生きとスポーツに親しむ、を目標に春フェスを開催しました。

コロナ禍にあって、一昨年は中止、昨年は無観客での実施でしたが、今年度は、教職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、「春フェス」として体育大会をリニューアルし、各ご家庭1名ではありますが、保護者の参観も実現しました。生徒が中心となり新たな伝統づくりがスタートしています。

「春フェス」の開催に関わり、PTA本部役員のみならず、準備段階から地域や関係機関の皆様にご支援いただきましたのでご紹介いたします。みなさん、ありがとうございました。



■保護者受付・消毒・誘導・観覧時の注意喚起⇒東旭川地域ボランティア団体「縁助意」
(中野さん、鎌倉さん、亀上さん、八巻さん)

■競技参加・審判手伝い⇒ボッチャのドリームチーム(チーム紅蓮)
(五十嵐さん、番匠さん、小澤さん、藤本さん)

■フィナーレセレモニー映像制作⇒NP0法人カムイ大雪バリアフリー研究所(五十嵐さん)

■連絡調整⇒地域コーディネーター(旭川市教育委員会社会教育課)(小島さん、伊藤さん)

旭川中が考える

あさひやまプライドプロジェクト

本校生徒は、自己肯定感や自己有用感、地域に対する愛着を高めることで、さらに目標に近づくとの調査結果が出ています。そこで、母校である「旭川中学校」を誇りある学校にする「当事者」、そして、あさひやま地域の活性化を担う「担い手」として行動するよう働きかけをしています。

そのような中であって、

「あさひやま」には、こんなにも「あさひやま」を愛する人たちがいるということを知ってほしい。

「あさひやま」には、こんなにも素晴らしいものがあるということを知ってほしい。

都会や他地域に進学、就職しても「あさひやま」で育ったということに誇りを持っていてほしい。

そんな願いからこのプロジェクトを展開したいと考えています。

今年度も様々な取り組みを「Pride Project」として位置づけて展開しようと考えていますが、

「あさひやま」で活躍する人材から中学生にエールとメッセージを贈ってもらい、地域への前向きな評価を通して、地域への誇りと愛情の拡大を目指します。

きっと、「あさひやま」を愛する人のライフスタイルや志が込められた実践には、「あさひやま」の多くの魅力を統合する「力」があると確信しています。

「あさひやま」に生きる人々のストーリー「Pride Project」第1弾

学校菜園にトマトの苗を寄贈いただいた東旭川桜岡の谷川さんです

Tanikawa Hideichi

谷川 秀一 〈73〉

農業会社役員 東旭川町桜岡

SUNTORYが北海道産本気野菜トマト「ボンリッシュ」を使ったケチャップの販売をスタート。このケチャップには、東旭川町の谷川秀一さんが丹念こめて育てた本気野菜「ボンリッシュ」が使用されています。「ボンリッシュ」は、だしのような濃厚な旨味で、煮込み料理など、何にでも使える調理用トマト。何と北海道のたった3カ所でしか栽培されていません。

北海道産本気野菜トマト「ボンリッシュ」を栽培



写真・内容の出典：<https://suntoryflowers.blog.suntory.co.jp/009740.html>

あさひやまの次世代に贈る メッセージ！

25歳で農業経営を引継ぎ「48年」。トマト栽培を中心に農業に取り組んできました。食べると笑顔になるトマトの味と姿にこだわっています。

こだわりを追求するために、常に新しいことに挑戦してきました。挑戦にはリスクが伴いますが、同時に新しい世界を切り拓くことができる可能性も秘めています。この挑戦を通して学んだこと、それは、人生は「人との出会い」と「選択」が重要だということ。どんな人に出会い！どんな選択をしたか！このことによって未来は変わります。あさひやまに縁のある若者たちには、何事にも「今」、自分の気持ちを込めて取り組んでほしい。「今」＋「心」＝『念』です。この取組の積み重ねで、軸足がしっかりとした「信念」のもと、自律・自立した大人になってくれることを心から期待しています。

あさひやまPride Project

あさひやまを愛し

あさひやまに生きるヒトのヒストリー